

地球温暖化は世界的な問題です。温暖化の影響は、高山などの寒冷地でいち早く表れます。

高山植物の開花状況を長期に渡って定点観測することで影響度を計ることができます。一般登山者が調査ボランティアとして協力することで高山生態系の基礎データを得ることができます。

このテーマで研究している北大地球環境研究院工藤岳氏(江別在住)にデータ解析され温暖化変化予測として寄与します。

高山植物 リサーチ登山

調査地は大雪山に4箇所設置し、調査期間は5月～10月です。係るボランティア調査数は2012年5月下旬から10月20日まで182件でした。

調査ボランティアにより今年も無事に調査期間を終了しました。



高山植物開花調査



モニタリング研修

地球温暖化の影響

地球温暖化という言葉を目にしますね。大気や海洋の平均温度の上昇のことですが、生物圏内の生態系の変化や海面上昇による海岸線の浸食など様々な影響が指摘されています。

温暖化は長期間の観測が欠かせませんが、高山帯では温暖化の影響は寒冷生態系で最も顕著であること、人間活動の直接的影響が低く、地球環境変化を検出しやすいことから **高山生態系のリトマス紙**と言えます。



1988.7.21



2007.7.19

19年間の変化

高山植物 探る温暖化

大雪へ今年も定点観察



温暖化変化予測データ積み上げのいま

～高山植物調査2012年報告～

2013年3月23日(土) 13:00～16:00

会場：江別市野幌公民館 入場無料・当日受付

第一部

高山生態系のいま、高山植物開花調査報告
工藤 岳(北海道大学地球環境科学研究所)

～気になる温暖化の現実、北海道生物多様性のいま～
雪本 晋資(環境省自然環境局生物多様性センター)

第二部

エコライフの話

岡崎 朱実(えべつ地球温暖化対策協議会)



工藤 岳



雪本 晋資



岡崎 朱実

